

一般社団法人 日本感染症学会

第97回総会資料

2023年4月29日（土） 13時00分～14時00分

パシフィコ横浜 ノース 1階 G1（第1会場）

*ハイブリッド開催

報告事項

- 第1号 2022（令和4）年度事業報告について
- 第2号 2023（令和5）年度事業計画および正味財産増減予算書について

審議事項

- 第1号議案 貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録
（2023年2月末日現在）承認について
- 第2号議案 2023・2024年度理事および監事の承認について
- 第3号議案 次期会長承認について
- 第4号議案 次期会長承認について
- 第5号議案 次々期会長候補者選任について
- 第6号議案 次々期総会開催地および会期について
- 第7号議案 名誉会員および功労会員選任について

その他

報告事項

第1号 2022（令和4年）度事業報告について

1. 2022 年度優秀業績の表彰

2022 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

高橋 聡 氏（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

「Evaluating a novel, highly sensitive, and quantitative reagent for detecting SARS-CoV-2 antigen」(Journal of Infection and Chemotherapy 2021 Vol.27, No.6 p800-807)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

広瀬 雄二郎 氏（大阪大学大学院歯科学研究科細菌学教室）

「*Streptococcus pyogenes* upregulates arginine catabolism to exert its pathogenesis on the skin surface」(Cell Reports 2021; Vol.34 108924)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

令和4年4月22日～4月23日、WEB 配信において第96回学術講演会を前崎繁文会長のもとに開催した。

参加人数：2,298 人

会長講演1題、特別講演1題、招請講演2題、シンポジウム11題、専門医審議会シンポジウム1題、JaSA ジョイントシンポジウム1題、プライマリ・ケア連合学会合同シンポジウム1題、日本結核・非結核性抗酸菌症学会共同シンポジウム1題、ワークショップ4題、総括新型コロナ4題、Accepted paper セッション1題、男女共同参画推進委員会企画1題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、臨床研究促進助成中間報告1題、レジオネラ症サーベイランス WG 報告1題、COVID-19 院内感染対策検討 WG 報告1題、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告1題
一般演題 292 題（口演：167 題、ポスター：125 題）

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第96巻1号より逐次刊行した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.28, No.1 より逐次刊行した。

インパクトファクター2021 年度：2.065

JIC Award 2022 (Vol.28 p211-6)

Shigetoshi Sakabe, *et al.*

The clinical course of 239 cases of Japanese spotted fever in Ise Red Cross Hospital, 2006- 2019

JIC Reviewer of the Year 2022

伊東直哉 先生（愛知県がんセンター感染症内科）

岩永直樹 先生（長崎大学病院呼吸器内科）

2023 年1月1日より日本環境感染学会が加入した。

4. 地方会

・第71回東日本地方会学術集会は、令和4年10月26日～10月28日の3日間、高橋聡会長のもとで第69回日本化学療法学会東日本支部総会（横田伸一会長）と合同開催としておよび WEB 配信で行われた。

会長講演1題、招請講演2題、特別講演2題、教育講演10題、シンポジウム9題、ICD 講習会1題、男女共同参画推進委員会企画シンポジウム1題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー1題、日本環境感染学会合同シンポジウム1題、ICD 講習会1題、イブニングセミナー10題、モーニングセミナー7題、教育セミナー10題、スポンサードシンポジウム1題

一般演題 219 題（感染症：132 題、化療：87 題）

参加人数 1,883 名

・第65回中日本地方会学術集会は中村敦会長のもとで、第92回西日本地方会学術集会は迎寛会長のもとで令和4年11月3日～5日の3日間、第70回日本化学療法学会西日本支部総会（宮下修行会長）と合同開催で出島メッセ長崎および WEB 配信で開催された。

特別講演3題、会長講演3題、会長特別企画1題、教育講演16題、シンポジウム21題、ジョイントシンポジウム・合同シンポジウム3題、ワークショップ1題、パネルディスカッション2題、感染症入門講座14題、共催セミナー21題、新薬シンポジウム・スポンサードシンポジウム5題、男女共同参画推進委員会企画1題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー1題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、ICD 講習会1題、検査・診断セミナー1題、ハンズオンセミナー1題、中日本地方学術奨励賞選考セッション10題、研修医セッション41題（中日本：16題、西日本：11題、化療：14題）、学生セッション18題（中日本：8題、西日本：4題、化療：6題）

一般演題：185 題（中日本：43 題、西日本：102 題、化療：40 題）

参加人数 2,241 名

5. 感染症専門医審議会委員会

1)	感染症専門医試験合格者 96 名												(敬称略)		
相澤 悠太	赤池 公孝	赤澤 奈々	赤田憲太郎	赤羽 順平	浅野裕一朗	池亀 和博	石井 寛								
石原 徹	糸賀 正道	稲田 誠	井上 暢子	枝川 峻二	大手 裕之	岡崎 彰仁	小笠原 隆								
小川 英佑	奥田 菜緒	屋宮 清仁	温 麟太郎	笠松 亜由	梶田 明裕	柏木 克仁	門田 直樹								
北島 平太	北野 泰斗	木戸口千晶	木村 浩	栗田 崇史	栗原 維吹	國東 博之	児玉 達哉								
児玉 祐一	後藤 昭彦	小林 竜也	小松 雅宙	坂本 透	酒匂 崇史	佐々木裕明	笹澤 裕樹								
佐野 寛仁	佐野 正浩	島 さほ	島田 翔	十菱 大介	城 幸督	鄭 瑞雄	白井 剛								
進藤有一郎	鈴木 康仁	高橋 秀徳	多久 佳祐	武井健太郎	竹内 優都	武田 和明	蛸井 浩行								
谷口亜裕子	長命 友梨	津崎 光司	永田 由佳	永野 啓	西村 知子	野坂 生郷	長谷川耕平								
長谷川 誠	長谷川 諒	濱口 杉大	林 幸司	藤田 浩二	藤原 翔	前田 直則	榎 陽平								
丸毛 淳史	三木 瑞香	三雲 大功	南 順也	三宅 淳	宮本 恭兵	村中絵美里	森本 将矢								
矢幅 美鈴	山内 悠子	山口 慎	山崎 啓	山手 亮佑	山中 崇之	山本 洋平	吉川 裕喜								
吉崎亜衣沙	吉永 則良	林 阿英	若林 宏樹	脇本 優司	早稲田優子	綿谷奈々瀬	渡辺 珠美								

2) 更新者 257 名 (令和 5 年 1 月 1 日現在専門医数 1,771 名)

3) 指導医 66 名

4) 感染症専門医認定研修施設 319 施設 (ホームページ参照)

5) 新専門医制度への移行について

- ・基本領域を内科・小児科のみとした整備基準 (案) を機構へ再提出した (ホームページ参照)。

6. インフルエンザ委員会

- 1) 提言「一般社団法人日本感染症学会提言 2022-2023 年シーズンのインフルエンザ対策について (医療機関の方々へ)」および「一般社団法人日本感染症学会提言 2022-2023 年シーズンのインフルエンザ対策について (一般の方々へ)」を 2022 年 7 月 24 日に HP にて公開した。

7. 臨床研究促進委員会

- 1) 第 6 回日本感染症学会臨床研究促進助成 (2023 年度)
受賞者: 川筋 仁史 氏 (富山大学学術研究部医学系感染症学講座)
研究課題: 我が国の腸内環境における薬剤耐性と定着リスクの解明 ~新たな保菌前感染対策への展開~
- 2) シンポジウム開催
第 96 回日本感染症学会学術講演会
シンポジウム: あなたの日常診療を科学にしよう
Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -
- 3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2023 (若手研究者賞)
受賞者: 田頭 保彰 氏 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野)
- 4) レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究事業については、症例収集している。
- 5) COVID-19 重症化因子探索事業について、目標症例数に達し、解析を行っている。

8. 学際化国際化委員会

- 1) 学際化
・JaSA として敗血症セミナーを 3 回 (2022 年 5 月 15 日、9 月 3 日、12 月 11 日) 開催
・第 31 回日本医学会総会で掲示する学会ポスターを作製した。
- 2) 国際化
・第 96 回日本感染症学会学術講演会
招請講演 1 (IDSA)、招請講演 2 (ESCMID)
・The Sasakawa Emerging Experts Delegation (SEED) と日本の新型コロナウイルスへの対応について意見交換を行った。

9. ワクチン委員会

- 1) 「COVID-19 ワクチンに関する提言」について 2022 年 7 月 5 日に第 5 版 (8 月 30 日、10 月 4 日に一部修正)、1 月 23 日に第 6 版を HP に公開した。

10. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会

- 1) 気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言 (改訂版) を発行した。

11. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連

- 1) HP 公開資料 (*は他団体合同・協力)
 - ・COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第 14 版 (2022 年 8 月 30 日)
 - ・COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第 14.1 版 (2022 年 9 月 7 日)
 - ・COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第 14.2 版 (2022 年 9 月 30 日)
 - ・COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第 15 版 (2022 年 11 月 22 日)
 - ・COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第 15.1 版 (2023 年 2 月 14 日)
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下における熱中症対応の手引き (第 2 版) *
 - ・この冬の COVID-19 とインフルエンザ同時流行の際の注意点 (2022 年 10 月 20 日)
 - ・経口抗ウイルス薬 (パキロビッド®パック) の処方に関して

- ・ Significant Scientific Evidences about COVID-19 (古川俊治参議院議員) (最終更新 2023 年 1 月 17 日)
 - ・ 2022 年香港でのオミクロン株 BA.2 の流行-3 (訂正版)
 - ・ 2022 年香港でのオミクロン株 BA.2 の流行-4
 - ・ 中国本土のオミクロン変異株流行と、マカオの BA.5 流行 (2022 年 7 月)
 - ・ 台湾の COVID-19 死亡者 8,446 例のデータから—成人死亡者の 1/3 はワクチン 3 回以上接種済
 - ・ 中国本土 2022 年 12 月下旬の COVID-19 感染状況について (2022 年 12 月)
 - ・ 2022 年 12 月～2023 年 1 月中国の COVID-19 感染状況についての公式発表 (2023 年 1 月)
 - ・ 全国新型コロナウイルス感染の流行状況 (2023 年 1 月 25 日中国疾病予防管理センター (CDC))
 - ・ 2023 年 2 月第 2 週中国の COVID-19 感染状況と新しい治療薬
 - ・ 2023 年 2 月第 3 週 中国の COVID-19 感染状況と民間会社の抗体測定
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 1 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 8 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 15 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 18 日 (中国疾病予防管理センター)
- 3) 「限りある医療資源を有効活用するための医療機関受診及び救急車利用に関する 4 学会声明」 (日本救急医学会, 日本プライマリ・ケア連合学会, 日本臨床救急医学会と合同) を発表した (2022.8.2)。
 - 4) 「新型コロナウイルス感染症における喫緊の課題と解決策に関する提言」 (日本化学療法学会と合同) を発表した (2022.9.2)。
 - 5) 行政から出される通達「自治体・医療機関向けの情報一覧 (事務連絡等) (新型コロナウイルス感染症)」の中で、会員にとって重要な情報と思われるものを会員へメール配信した。
 - 6) COVID-19 が感染症診療に及ぼした影響に関する調査を行った。

他学会合同事業

- 1) Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of *Clostridioides (Clostridium) difficile* infection を JIC に掲載した日本化学療法学会合同)。
 - 2) 「*Clostridioides difficile* 感染症診療ガイドライン 2022」を発行した (日本化学療法学会合同)。
 - 3) 9 月 4 日に四学会合同事業セミナー「いま問題の感染症に挑む」を WEB 配信にて開催した (参加人数: 900 名)
 - 4) 外来抗菌薬適正使用調査委員会のアンケート調査を行った (日本化学療法学会合同)。
 - 5) 抗菌薬の安定供給に向けた提言を厚生労働省に提出した (日本化学療法学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会、日本小児感染症学会合同)。
 - 6) 7 学会合同感染症治療・創薬促進検討委員会提言「パンデミック・サイレントパンデミックに対する治療薬・ワクチン・検査法の研究開発を継続できる制度の必要性」を厚生労働大臣、経済産業大臣、財務大臣に提出した (日本化学療法学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会、日本細菌学会、日本薬学会、日本獣医学会と合同)
12. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
呼吸器感染症、手術部位感染。
 13. ICD 制度協議会
新規認定者 409 名 有資格者数 3,401 名 (当学会推薦)
 14. FUSEGU2020
 - 1) 2022 年 4 月 10 日にオンライン市民公開講座「正しく知ろう！新型コロナウイルスとワクチン」を開催した。
 - 2) 2022 年 12 月 21 日に市民公開セミナー「親子で考える感染症対策 ～ウィズコロナでの新しい生活様式について～」を開催した。

※上記事業報告については、HP に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員: 10,745 名 賛助会員: 19 件 令和 5 年 2 月 28 日現在
除名については該当者無し
2. 第 96 回日本感染症学会総会は令和 4 年 4 月 22 日、WEB 配信にて行った。
3. 令和 4 年度評議員会は令和 4 年 4 月 22 日、WEB 配信にて行った。
4. 理事会は 4 回行った。必要に応じて都度メール審議を行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会 1 回会議を行った。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は 1 回行った。
7. 専門医関連委員会は 7 回 WEB 会議を行った。
8. 学際化・国際化委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
9. 男女共同参画推進委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
10. インフルエンザ委員会は 3 回 WEB 会議を行った。
11. COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会関連: 15 回、レジオネラ検討委員会関連: 9 回 WEB 会議を行った。
12. 感染症遺伝子検査委員会は 1 回 WEB 会議を行った。

13. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会は4回WEB会議にて行った。

第2号 2023（令和5）年度事業計画および正味財産増減予算書について 事業計画

1. 感染症に対する調査および研究ならびにこれらの援助、今年度の優秀業績の表彰
2. 感染症に関する学術講演の開催
 - ・2023年4月28日～30日の3日間、パシフィコ横浜 ノースにおいて、第97回日本感染症学会学術講演会（会長・四柳宏）開催予定。
 - ・2023年10月25日～27日の3日間、東京都・東京ドームホテルにおいて、第72回東日本地方会学術集会（会長・竹村 弘）開催予定。
 - ・2023年11月9日～11日の3日間、富山県・富山国際会議場において、第93回西日本地方会学術集会（旧西日本会長・下野信行、旧中日本会長・宮良高維）開催予定。
3. 感染症に関する学術図書の刊行
 - 感染症学雑誌 刊行回数 隔月（6回） オンラインジャーナル
 - Journal of Infection and Chemotherapy 年12回 オンラインジャーナル
4. 専門医制度
 - ・第27回感染症専門医資格認定試験を11月に実施する。
 - ・指導医講習会を第97回日本感染症学会学術講演会、第72回東日本地方会学術集会、第93回西日本地方会学術集会において実施する。
 - ・感染症専門医を目指す若手医師を対象としサマースクール特別版（2023.8.11・東京国際フォーラム）、ベーシックスクールを開催する。
 - ・日本専門医機構と相互に連絡協調し、新専門医制度下のサブスペシャルティ領域制度設計を行う。
 - ・新専門医制度の整備基準に合わせ、現行の規則・細則を改正する。
 - ・症例登録システム JAID-J-OSler の運用を開始する（会員：¥20,000（税別） 予定・登録時のみ、非会員：¥40,000（税別） 予定・毎年）。
 - ・感染症専門医育成システム（e-learning）を構築する。
5. 提言・ガイド・ガイドライン
 - ・JAID/JSC 感染症治療ガイド2023を発行する。
 - ・MRSA 感染症の治療ガイドライン2023年改訂版を発行する。
 - ・気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言ダイジェスト版を発行する。
6. 第7回臨床研究促進助成事業を行う。
7. 男女共同参画推進委員会において学術講演会時等での企画を検討する。
8. DPCを用いた臨床研究を行う。
9. 外来抗菌薬適正使用調査委員会でアンケート調査結果を両学会と文誌およびJICに投稿する。
10. 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業に参加する（継続）（歯科口腔外科、CDI）。
11. 三学会合同リネゾリド適正使用委員会を開催する（継続）。
12. JaSA 事業に参加する（継続）。
13. ICD 制度協議会に加盟する（継続）。
14. 認定臨床微生物検査技師制度協議会および感染制御認定臨床微生物検査技師制度協議会に加盟する（継続）。
15. 日本微生物学連盟に加盟する（継続）。
16. 予防接種推進専門協議会に加盟する（継続）。
17. 内科系学会社会保険連合に加盟する（継続）。
18. 一般社団法人日本医療安全調査機構に加盟する（継続）。
19. 一般社団法人医療安全全国行動に加盟する（継続）。
20. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合会に加盟する（継続）。
21. 日本環境感染症学会と合同でFUSEGU2020事業を行う（継続）。
22. 日本医学会、日本医学会連合に評議員および連絡員を派遣し、医学発展のために各種問題につき相互に連絡協調する。
23. 関係学術団体との連絡協議。

正味財産増減予算書について（別表4）

審議事項

第1号議案 貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録（2023年2月末日現在）承認について

2022年度貸借対照表は別表1、正味財産増減計算書は別表2、財産目録は別表3の通りである。

第2号議案 2023・2024（令和5・6）年度理事および監事の承認について

（任期：2023年4月29日～2025年総会まで）

理事候補者

岩崎 博道	（福井大学医学部附属病院感染制御部 教授）	（新任）
大曲 貴夫	（国立国際医療研究センター国際感染症センター センター長）	（重任）
掛屋 弘	（大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授）	（新任）
齋藤 昭彦	（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 教授）	（重任）
下野 信行	（九州大学病院グローバル感染症センター センター長）	（新任）
竹村 弘	（聖マリアンナ医科大学微生物学教室 教授）	（新任）
館田 一博	（東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授）	（新任）
多屋 馨子	（神奈川県衛生研究所 所長）	（新任）
中野 貴司	（川崎医科大学総合医療センター小児科学 教授）	（新任）
中村 敦	（名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授）	（重任）
長谷川直樹	（慶應義塾大学医学部感染症学教室 教授）	（重任）
藤田 次郎	（医療法人おもと会大浜第一病院 特別顧問）	（新任）
光武耕太郎	（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 教授）	（重任）
柳原 克紀	（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座病態解析・診断学分野 教授）	（重任）
山本 善裕	（富山大学大学院医学薬学研究部感染予防医学講座 教授）	（重任）

監事候補者

三嶋 廣繁	（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 教授）	（新任）
迎 寛	（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野（第二内科） 教授）	（新任）
四柳 宏	（東京大学医科学研究所感染症分野 教授）	（新任）

第3号議案 次期会長承認について

金沢医科大学臨床感染症学講座

飯沼 由嗣 教授

第4号議案 次々期会長候補者選任について

埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科

光武 耕太郎 教授

第5号議案 次々期総会開催地および会期について

第6号議案 名誉会員および功労会員承認について

名誉会員推薦：荒川 創一 先生、神谷 茂 先生、堤 裕幸 先生、安川 正貴 先生

功労会員推薦：該当なし

その他

令和4年度新任評議員

1. 山口 哲央 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)
2. 岩永 直樹 (長崎大学病院 呼吸器内科)
3. 金城 武士 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学)
4. 伊藤 明広 (倉敷中央病院 呼吸器内科)
5. 山元 佳 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)
6. 齋藤 翔 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)
7. 萩原 真生 (愛知医科大学分子疫学・疾病制御学寄附講座)
8. 小川 吉彦 (堺市立総合医療センター感染症内科)
9. 早川佳代子 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)
10. 今北菜津子 (奈良県立医科大学感染症センター)
11. 戸根 一哉 (東京慈恵会医科大学附属柏病院呼吸器内科)
12. 戸川 温 (福岡大学病院感染制御部)
13. 氏家 無限 (国立国際医療研究センター)
14. 南宮 湖 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)
15. 古賀 道子 (東京大学医科学研究所)
16. 大神田 敬 (聖マリアンナ医科大学微生物学)
17. 青木弘太郎 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

令和4年度

物 故 会 員

1. 野田 省二 先生 (正会員) (年 月 日)
2. 足立 睦宏 先生 (正会員) (2020年 月 日)
3. 長嶋 和郎 先生 (正会員) (2021年 7月21日)
4. 関本 静一 先生 (正会員) (2022年 月 日)
5. 山崎 誠 先生 (正会員) (2022年 2月 2日)
6. 藤田 博己 先生 (正会員) (2022年 4月12日)
7. 中畑 久 先生 (評議員) (2022年 5月 3日)
8. 熊本 悦明 先生 (功 勞) (2022年 5月 4日)
9. 堺 春美 先生 (評議員) (2022年 7月17日)
10. 田中 公 先生 (正会員) (2022年 8月 5日)
11. 本島 新司 先生 (正会員) (2022年 8月20日)
12. 大国 寿士 先生 (評議員) (2022年 9月19日)
13. 丹羽 初子 先生 (正会員) (2022年10月 日)
14. 菊地 博行 先生 (正会員) (2022年10月 3日)
15. 相楽 裕子 先生 (名 譽) (2022年10月 6日)
16. 大本英次郎 先生 (正会員) (2022年10月23日)
17. 荒川 正昭 先生 (功 勞) (2022年10月30日)
18. 平山 泰生 先生 (正会員) (2022年11月 日)
19. 齋藤 誠 先生 (名 譽) (2022年11月29日)
20. 押方智也子 先生 (正会員) (2022年12月 日)
21. 西山 潔 先生 (正会員) (2022年12月 2日)
22. 三木 文雄 先生 (功 勞) (2022年12月13日)
23. 林 三千雄 先生 (評議員) (2023年 1月30日)
24. 横瀬 喜彦 先生 (正会員) (2023年 2月 日)
25. 中村 正夫 先生 (功 勞) (2023年 2月 4日)